

謹賀新年

先明まつあけまして御吉兆ごけつこうと初鷄はつせりの御祝詞おんこそほぎをつ日ひはに句はふ梅曆うめり披ひら
 ひて鳥渡とりわたとよ一の、萬よろづよ一の、山里やまも都みやこも同おなし初霞はつがせみ立た
 續つづきたる門松かどまつの枝えだを鳴ならさぬ御代みよの春はるいと安やすらけく平たいら
 な平家ひらやに住すむ我々われわれより五階ごかいに在います公達そのたちあり二階にかい三階さんかい四
 海波うみなみ賤ぢが伏家ふせやの蚕あまが子こまで何れも替かりぬ新玉あたらの屠蘇酒とろすけ
 此御機嫌このごきげんより鼓腹こはらつみうち踏舞まひおどる手振てぶりのようさや御超歳ごちゆうざい目
 出度いでさ春はるをむるふ三軒さんけん兩隣りうりんあり真まツ始はめ御祝ごけつひ申まうす言
 の不相變ふさへん御懇志ごこんし之程このほどを希ねがふとえつ鶯うらの声こゑ麗うらりよ告つる
 新年新櫻田しんねんしんおうだ春陽堂しゅんやうどうの南軒なんけんよ香夢亭主人かうむていしゆじんホ、敬うやまつて白ます

東京芝新橋新櫻田町書林

春陽堂 和田篤太郎

明治十七年一月二日

